



青柳園だより

令和2年
10月号
文京区立青柳幼稚園

体を動かす楽しさを感じながら

園長 多比良 由恵

秋風の吹き抜ける幼稚園では、金木犀が香り、ミカンの木がたくさんの実をつけ始めています。暑さもようやく落ち着き、身体を動かして遊ぶことが心地よい季節です。子どもたちは、紙を丸めてお月見のお団子作りをしたり、コスモスを作って飾ったりしながら、幼稚園の生活の中で季節を感じています。

さて、10月3日（土）の運動会では、子どもたちは元気に走ったり、友達と一緒に踊ることを楽しんだりなど、一人一人が自分の力を発揮して、張り切って取り組みました。

5歳児ゆり組は、リズム、リレーなどの競技の他に、司会にも挑戦しました。グループの友達と心を合わせて「せーの」と声を掛けておじぎをしたり、お客さんまで届くような大きな声で言ったりしながら取り組みました。初めは言葉言うタイミングが揃わない、声が小さい、どなってしまふなどの姿もありました。でも繰り返し行う中で、「聞こえたよ！」「〇〇さんの声の大きさが良かった」など、子どもたち同士で良い姿を認め合いながら、自信をつけていきました。もも組の子どもたちと大勢のお客さんの前で司会をできたことは、大きな自信になったことと思います。

内容の精選と時間の短縮、参観者の人数制限や検温など、様々な感染症対策を取りながらの開催となりましたが、子どもたち、保護者の皆様にとっても、心に残る一時になったことと思います。たくさんの応援とご理解・ご協力くださり、ありがとうございました。

運動会後の幼稚園では、みんなで「まぜまぜ運動会」を楽しんでいます。4歳児もも組の子どもたちは、5歳児ゆり組のやっていたリズムを教わったり、ポンポンを借りたりしながら一緒に踊ることを楽しんでいます。ゆり組の子どもたちは、踊り方やコツなどを張り切って教えています。また、リレーにもまぜてもらい、繰り返し走ることを楽しんでいます。体を動かす楽しさを感じるとともに、「たのしい！」「うれしい！」「やってみたい！」と心を動かして遊ぶことを楽しんでいます。



黄色くなってきたみかん



かさの玉入れに挑戦



「かっこいいね」と、ゆり組のリズムを見るもも組の子どもたち